

東北地方 1か月予報

(7月23日から8月22日までの天候見通し)

平成17年7月22日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

一週目は気温が低いので農作物の管理に注意してください。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

高気圧に覆われて晴れの日もありますが、前線や低気圧などの影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月23日(土)～8月22日(月)

1週目 : 7月23日(土)～7月29日(金)

2週目 : 7月30日(土)～8月5日(金)

3～4週目 : 8月6日(土)～8月19日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月29日

3か月予報：7月25日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	23.1	153.0	169.4	22.6	23.3	23.2
新庄	24.2	155.1	186.3	23.9	24.5	24.2
若松	25.0	128.7	206.0	24.9	25.4	25.0
深浦	23.3	146.1	191.4	23.0	23.6	23.4
青森	23.2	117.3	194.6	22.8	23.6	23.3
むつ	21.8	116.7	160.4	21.3	22.1	21.9
八戸	22.5	118.3	182.1	22.1	22.9	22.6
秋田	24.7	160.2	202.5	24.4	24.9	24.9
盛岡	23.5	157.8	165.3	23.4	23.8	23.5
宮古	22.3	142.8	172.4	21.7	22.5	22.4
酒田	25.1	153.3	219.3	24.9	25.4	25.2
山形	25.0	131.9	189.8	24.9	25.4	24.9
仙台	24.2	145.8	158.7	23.7	24.5	24.3
石巻	23.5	106.0	180.4	22.9	23.6	23.7
福島	25.4	129.4	164.4	25.2	25.8	25.5
白河	23.5	189.5	159.2	23.3	23.8	23.5
小名浜	23.7	111.2	196.5	23.0	23.6	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.7	75~121	90~110
東北日本海側	-0.6~+0.5	77~114	91~113
東北太平洋側	-0.4~+0.6	70~124	89~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+1.1	-0.6~+1.2	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.6~+1.0	-0.8~+1.1	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.5~+1.3	-0.5~+1.3	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年7月22日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月23日~8月22日):

高気圧に覆われて晴れの日もありますが、前線や低気圧などの影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(7月23日~7月29日):

気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめは、高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。なお、台風の今後の進路によっては、予報は大きく変わることがあります。

平均気温は低いでしょう。

2週目(7月30日~8月5日):

高気圧に覆われて晴れの日もありますが、前線や低気圧などの影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(8月6日~8月19日):

高気圧に覆われて晴れの日もありますが、前線や低気圧などの影響で平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

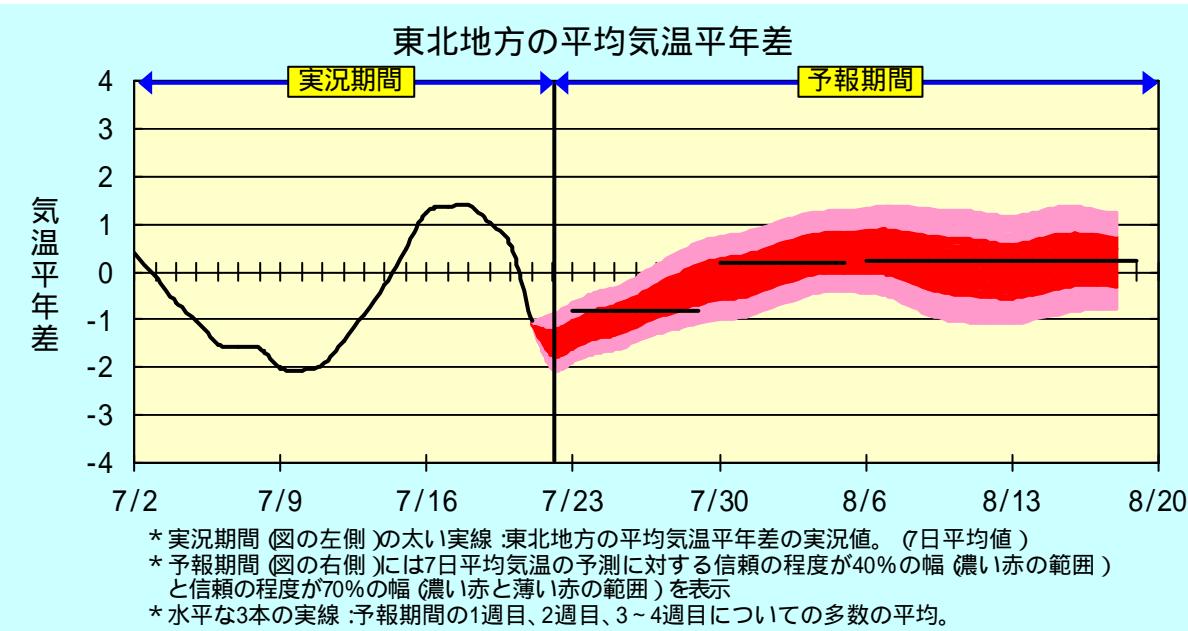
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.7日	4.1日	3.9日	8.7日
東北太平洋側	15.0日	3.7日	3.7日	7.6日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「低い」、2週目、3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、数値予報通りとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

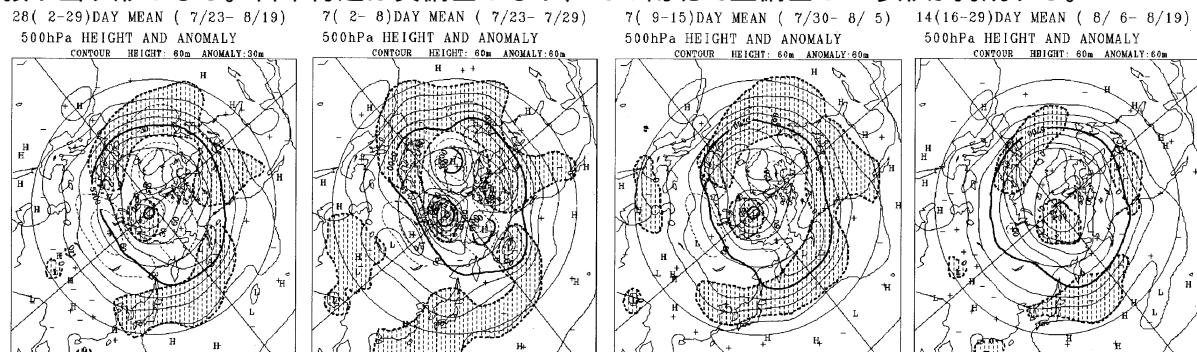


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近から東海上が負偏差。低緯度帯と極付近の高緯度帯も環状に正偏差。

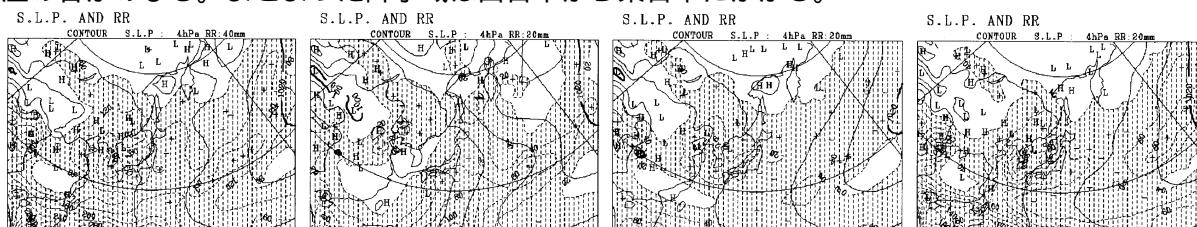
1週目は、日本付近は負偏差。太平洋高気圧は平年より弱い。2週目は月平均と同様に日本付近は負偏差で、その南北が正偏差。3~4週目は太平洋高気圧は全体的にやや弱まり、東日本以西に張り出す形となる。日本付近は負偏差となり、その南北で正偏差という形が持続する。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近への太平洋高気圧の張り出しが弱く、まとまった降水量が日本付近にもかかる。

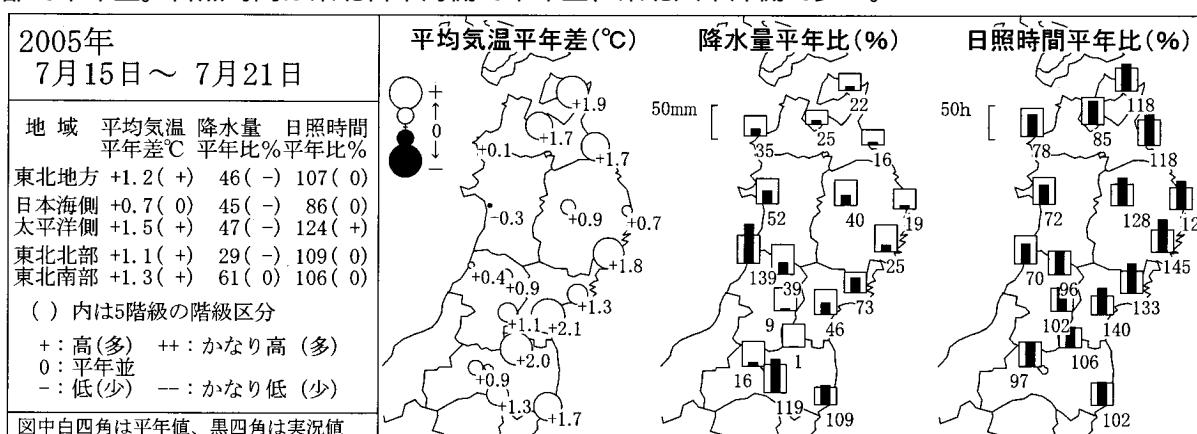
1週目は、日本付近には熱帯擾乱による低圧部があり、まとまった降水量が西日本を中心につかれる。2週目は、日本付近への太平洋高気圧の張り出しが弱く、まとまった降水量は西日本を中心。3~4週目は2週目に比べて太平洋高気圧の張り出しがやや強いが、北日本へ中国大陸から気圧の谷がのびる。まとまった降水量は西日本から東日本にかかる。



4. 最近1週間（7月15日～7月21日）の天候の経過

この期間、前半は梅雨前線が西日本まで南下したため東北地方は高気圧の圏内となる日が多く、晴れて気温の高くなった所が多かった。後半は前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、気温が低かった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

2005年(平成17年)梅雨入り・梅雨明け(速報)

地方	梅雨入り			梅雨明け		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月2日頃	5月8日頃	5月5日頃	6月27日頃	6月23日頃	6月23日頃
奄美	5月9日頃	5月10日頃	5月14日頃	6月27日頃	6月28日頃	6月24日頃
九州南部	6月11日頃	5月29日頃	5月29日頃	7月15日頃	7月13日頃	7月11日頃
九州北部	6月10日頃	6月5日頃	5月29日頃	7月17日頃	7月18日頃	7月11日頃
四国	6月11日頃	6月4日頃	5月29日頃	7月16日頃	7月17日頃	7月13日頃
中国	6月11日頃	6月6日頃	5月29日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
近畿	6月11日頃	6月6日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月19日頃	7月13日頃
東海	6月11日頃	6月8日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
関東甲信	6月10日頃	6月8日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
北陸	6月27日頃	6月10日頃	6月6日頃		7月22日頃	7月22日頃
東北南部	6月15日頃	6月10日頃	6月7日頃		7月23日頃	7月22日頃
東北北部	6月27日頃	6月12日頃	6月19日頃		7月27日頃	7月22日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入りまたは明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の時期があります。
平年の時期は1971年～2000年